

第6回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会
The 6th PDA Junior High School Parliamentary Debate National Competition

一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

日程：2023年3月19日(日)

会場：Zoom (オンライン)

主催：一般社団法人 パーラメンタリーディベート人財育成協会 (PDA)

共催：大阪公立大学

後援：朝日新聞社、朝日中高生新聞、一般社団法人 日本英語交流連盟、
JSPS San Francisco Office

助成：公益財団法人 日本財団、公益財団法人 KDDI 財団

協賛：TOEFL Primary・Junior 株式会社 ダンケゼア

【開催趣旨】

一般社団法人パーラメンタリーディベート人財育成協会(PDA)では、グローバルに活躍する人財育成の一手法として、英語での発信力、論理的思考力、幅広い知識・考え方、プレゼンテーション力、コミュニケーション力などの複数の力を効果的に訓練可能な即興型英語ディベートを推進しています。

本大会では、即興型英語ディベートの普段の練習の成果を試し、全国の高校生と議論を交わすことで、さらなる成長・学習意欲を促すことを目的とします。授業での取り組み成果を発揮できるよう、形式は授業導入可能なフォーマットです。

(参照：文部科学省助成事業 <http://englishdebate.org/debate/>)

【参加校】

- (山形県) 山形県立東桜学館中学校
- (茨城県) 茨城県立太田一高附属中学校
- (茨城県) 茨城県立勝田中等教育学校
- (栃木県) 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校
- (埼玉県) 開智中学高等学校
- (千葉県) 翔凜中学校
- (千葉県) 東邦大学付属東邦中学校
- (東京都) 筑波大学附属駒場中学校
- (東京都) 筑波大学附属中学校
- (東京都) 東京都立大泉高等学校附属中学校
- (東京都) 東京都立富士高等学校附属中学校

(東京都) 東京都立三鷹中等教育学校
(東京都) 東京都立武蔵高等学校附属中学校
(東京都) 品川女子学院中等部
(東京都) 白百合学園中学高等学校
(東京都) 東洋英和女学院中学部
(東京都) 獨協中学高等学校
(東京都) 武蔵高等学校中学校
(神奈川県) 横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校附属中学校
(神奈川県) 浅野中学校
(神奈川県) 栄光学園中学校
(神奈川県) 湘南白百合学園中学・高等学校
(神奈川県) 聖光学院中学校高等学校
(神奈川県) 洗足学園中学高等学校
(愛知県) 愛知真和学園 大成中学校
(愛知県) 東海中学校
(愛知県) 南山中学校女子部
(兵庫県) 神戸大学附属中等教育学校
(岡山県) 岡山県立岡山大安寺中等教育学校
(広島県) 広島学院中学校・高等学校
(徳島県) 徳島県立城ノ内中等教育学校
(熊本県) 熊本県立八代中学校
(宮崎県) 宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校

全 33 校

【タイムスケジュール】

09:40 受付
10:00 開会式
10:20 ラウンド 1
11:20 昼食交流会(11:30~12:00)
12:10 ラウンド 2
13:20 ラウンド 3
14:30 決勝進出チーム発表、決勝準備
14:35 キーノートレクチャー
14:50 決勝
15:20 表彰式、アンケート
15:40 終了

【ご挨拶】

第6回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会へのご参加ありがとうございます。

毎年参加校数が増えており、中学生が英語を使って即興で議論する取り組みへの関心が高まっていると感じます。

高等学校の新学習指導要領では、2022年度から英語科の新科目「論理・表現」が掲げられ、活動としてディベートが明記されています。本大会で取り扱うディベートは、授業の50分で完結する形式であり、中学生にとって近い将来役立つ内容です。英語で発信する力のほか、さまざまな論題について多様な視点から考える力を鍛える一助となることを願っています。キーノートレクチャーもお楽しみください。

一般社団法人パラメンタリーディベート人財育成協会（PDA）代表理事

中川智皓（大阪公立大学工学研究科・准教授）

カリフォルニア大学バークレー校 客員研究員

JST さきがけ研究員

理化学研究所 客員研究員

寝屋川市教育委員

【論題】

R1 Japan should ban pet sales.

（日本はペットの売買を禁止すべきである。）

R2 Spending weekends with friends is better than with family.

（週末は、家族よりも友達と過ごす方がよい。）

R3 Japan should prioritize child raising support over defense spending.

（防衛費よりも子育て支援に力を入れるべきである。）

決勝 Brain Machine Interface (BMI), which allows people to interact just by thinking by implanting electrodes in the brain, will do more good than harm.

（脳内に電極を埋め込むことで考えるだけで対話ができるようになるブレイン・マシン・インタフェース（BMI）は、害よりも利益をもたらす。）

【キーノートスピーカー】

東京工業大学 科学技術創成研究院 准教授

吉村 奈津江先生

【開会式】

新型コロナウイルスが収束しつつありますが、第6回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会も、前大会に引き続き遠隔（オンライン）で実施することとなりました。開会式では、はじめに、中川代表理事より開会の挨拶として本大会の趣旨についてお話がありました。本大会で扱うディベートは実際の授業時間内（50分）で完結する形式であり、中学生にとって役立つものであります。また、PDAでのディベート推進活動の紹介がありました。PDAでは、コロナ以前から6年ほどかけて、各地域でのディベート交流大会、認定教育ジャッジ制度の確立などに取り組んでいます。つづいて、本大会参加の33校が紹介されました。各校で様々な特色ある挨拶を交わし盛り上がりました。POI（Point of Information: ディベート中の質疑応答）を全員で練習した時、メインルームには参加者たちの大きな「POI!」のかけ声がひびきわたり、生徒たちに笑顔も見られました。その後、PDAスタッフよりジャッジへ向けてスコア送信についての注意事項、説明がありました。



POIの練習

【ラウンド1】

開会式が終わり、1ラウンド目のはじまりです。論題が発表されると、生徒たちは緊張した面持ちでアナウンスに耳を澄まし必死にメモを取っていました。対戦表と論題の発表後、各チームがチームメイトと準備を開始しました。論題は、*Japan should ban pet sales.*（日本はペットの売買を禁止すべきである。）です。1戦目から難易度の高いディベートとなりました。テーブルごとに、動物の権利保護や動物の殺処分数、命の売買等、様々な論点が出され、白熱した議論が行われていました。ディベートが終わるとジャッジから各生徒にフィードバックが行われました。



堂々とスピーチ（神大附属 VS 翔凜）

POI！（太田 VS 聖光）



ディベート後の交流

ジャッジによるフィードバック（武蔵 VS 湘南白百合）

【昼食交流会】

昼食タイムです。オンライン開催ということもあり画面越しではありましたが、交流しながら昼食をとりました。ブレイクアウトルームでは、ラウンド1でディベートした内容を話したり、お互いの住む地域の話、部活動の話などで盛り上がりました。



【ラウンド2】

ラウンド2の論題は *Spending weekends with friends is better than with family.*（週末は、家族よりも友達と過ごす方がよい。）です。1ラウンド目でジャッジにももらったアドバイスなどを参考にしながら、さらにレベルの高いディベートが行われました。家族と過ごす重要性と友達と週末を過ごす大切さに関して議論沸騰する様子が見られました。



アイコンタクト（翔凜 VS 東桜学館）

ジェスチャーを活かしたスピーチ（開智 VS 宮西附属）



ディベートの様子



ディベート後の交流



ディベート後の交流



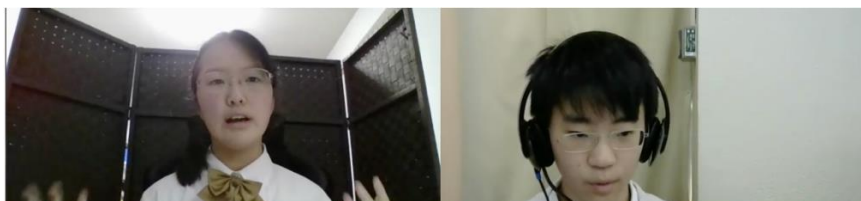
ディベート (神大附属 VS 広島学院)



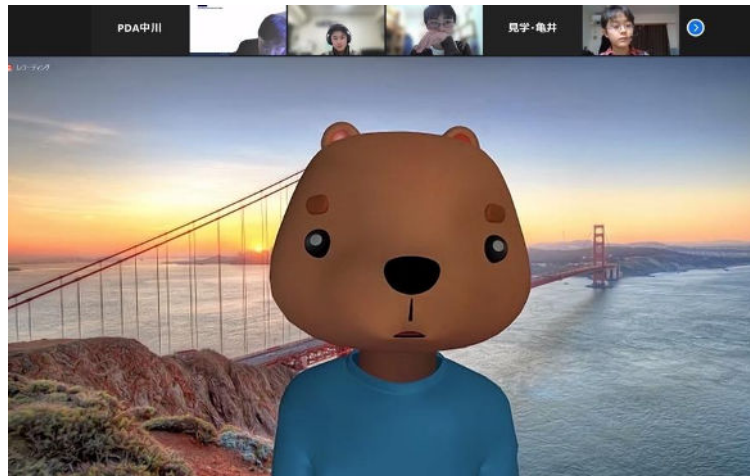
ディベート後の交流 (東洋英和 VS 武蔵)

【ラウンド3】

3 ラウンド目の議題は、*Japan should prioritize child raising support over defense spending.* (防衛費よりも子育て支援に力を入れるべきである。)でした。Government (肯定側) からは、人口が減ってしまうことは国の根幹を揺るがすというという立場で議論を展開していきました。一方の Opposition (否定側) からは、近隣の国々による脅威が差し迫っているなどの点を挙げて反論を行いました。3 ラウンド目ということもあり、1, 2 ラウンドでの反省やフィードバックを活かした素晴らしいディベートが行われました。このラウンドでは、Swing チームとして、ChatGPT が出場しました！OpenAI が公開した自然な文章を生成する人工知能 (AI) です。PDA では最先端技術を積極的に取り入れていきます。



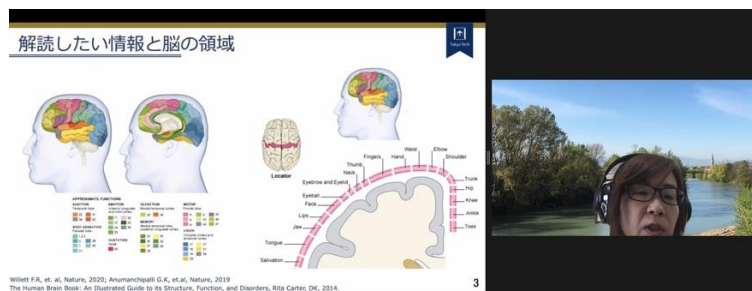
堂々とスピーチ (洗足 VS 東海)



Chat GPT が Swing チームとしてディベートする様子

【キーノートレクチャー】

本大会のキーノートレクチャーでは、東京工業大学科学技術創生研究院准教授、吉村奈津江氏を講師にお迎えし、決勝の論題となったブレイン・マシン・インターフェース (BMI) についてお話していただきました。ブレイン・マシン・インターフェース (BMI) とは人間の脳と機械やコンピューターを直接的につなぐ最先端技術のことを指します。BMI では装置を通して脳波や節電信号などの情報を集めて処理が行われ、読心術のように、人が見ているものや想像したものを復元することも可能です。現在 BMI 技術は未だ研究段階ですが、様々な可能性を秘めています。吉村奈津江氏の SF の世界のような BMI 最先端技術に関するレクチャーは大変興味深く、生徒たちからの質問が絶えませんでした。



吉村先生のキーノートレクチャー



質問の挙手がたくさんあがりました

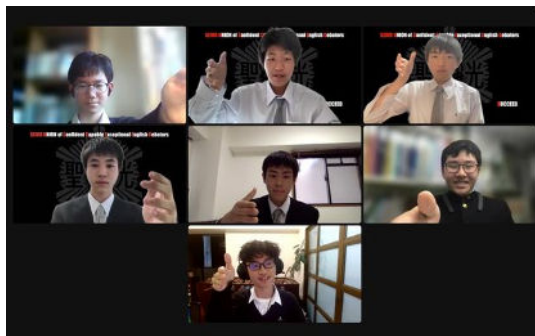
【決勝ラウンド】

いよいよ決勝チームの発表です。予選3ラウンドの結果、決勝戦には浅野中学校、聖光学院中学校高等学校が選出されました。決勝戦の論題は、*Brain Machine Interface (BMI), which allows people to interact just by thinking by implanting electrodes in the brain, will do more good than harm.* (脳内に電極を埋め込むことで考えるだけで対話ができるようになるブレイン・マシン・インタフェース (BMI) は、害よりも利益をもたらす。)でした。両チームとも、多くの生徒や教員が見守る中で、落ち着いた口調で内容の論理性や英語力など中学生とは思えないスピーチを披露してくれました。それだけでなく、積極的にPOIも行っており、決勝戦にふさわしいとても白熱したラウンドになりました。

ディベート後、キーノートスピーカーの吉村先生より、ディベート内容へのフィードバックが行われました。ディベートをした生徒は、ディベートを通して出てきた疑問点などを質問し、よりテーマへの理解を深める機会となりました。



決勝戦の様子



決勝ラウンドが終わり笑顔でエアー握手



キーノートスピーカー吉村先生によるフィードバック

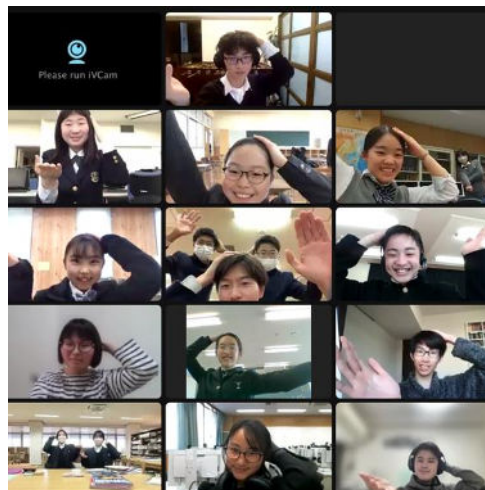
【表彰式・閉会式】

表彰式では、ベストディベーター賞、ベスト POI 賞、チーム賞が発表され、決勝ラウンドの結果が発表されました。結果を見た生徒たちは喜びをかみしめ、チームメイトお互いに声をかけあう様子も見られました。活躍されたすべての生徒に賛辞を送りたいと思います。

次に、中川代表理事より「議論に勝つための折り合いのつけ方ではなく、人の幸せのための折り合いのつけ方を意識することが重要です。そのためには、研究者、政策立案者、ものづくりをする人、家族、いろいろな人が納得し、みんなが幸せになることができる解を模索することが重要です。これからもがんばってください。」と講評と労いのメッセージが送られました。最後に、優勝した浅野中学校と準優勝した聖光学院中学校の代表生徒が「高校生になってもがんばりたいです。」「楽しくディベートができてよかったです。次は勝てるように頑張りたいです。」と感想を述べ、第6回PDA中学生即興型英語ディベート全国大会は幕を閉じました。



ベストディベーター賞の表彰



POI 賞の表彰



決勝戦でディベートしたチームの代表生徒による感想

第6回 PDA 中学生即興型英語ディベート全国大会結果

<チーム賞>

優勝 浅野中学校(神奈川県)

準優勝 聖光学院中学校高等学校(神奈川県)

3位 神戸大学附属中等教育学校(兵庫県)

4位 東邦大学付属東邦中学校(千葉県)

5位 洗足学園中学高等学校(神奈川県)

6位 東洋英和女学院中学部(東京都)

7位 栃木県立宇都宮東高等学校附属中学校(栃木県)

8位 東海中学校(愛知県)

<個人賞>

ベストディベーター賞(個人名略)

ベスト POI 賞(個人名略)

【アンケート（抜粋）】

1. 生徒からの感想

- チームメイトと協力したり、中々ない全国の中学生との交流ができて、とても楽しかったです！（東邦）
- とてもいいディベート経験になりましたし、他校の生徒と話せる機会というのも少ないので楽しかったです（聖光）
- 自分の実力をはかることができ、今後どうしていきべきなのかという目標も見つけられてすごくためになった。（大成）
- 高いレベルのディベーターの方々と議論できて楽しかったです。また、ジャッジの方からのアドバイスをこれからは活かしていきたいと思います。（宮崎西）
- ほんとにレベルが高く、英語はもちろんだけど発想力は即興で返せる能力も必要だと思った。今大会の結果が非常に悔しかったので来年絶対リベンジする。（勝田）
- みなさんの英語力がたかくてすごく驚いたのと、もっとたくさん話せるように頑張りたいなと思いました。（品川女子学院）
- 今回のディベデートを通して、学校で練習しているのとは全く違う、他校の生徒の英語力のすごさを実感しました。意見を言う時にしっかり論理性があったし、単語の幅が多くて自分ももっと勉強したいと思います。（三鷹）
- 勝敗に関わらずすごく有意義な時間になりました。短いスピーチ時間でいかに必要な内容を詰め込むかが課題になりました。最後のラウンドは本当に素晴らしくて感動しました。目標にしたいです！（南山女子部）
- 全国の様々な学校、学年の方と交流しながらディベートを楽しむという貴重な体験ができ、とても楽しめた。日頃の練習の成果や成長が実感できて、自身や今後のやる気につながった。ジャッジの方が改善点を優しく教えてくださるだけでなく、しっかり褒めても下さるのが嬉しかった。（岡山大安寺）

2. 教員・見学者からの感想

- また次回も生徒を参加させたいです。
- ディベートのテーマも興味深く、他の学校との交流も楽しかったです。
- 毎年、大変素晴らしい大会を開いてくださってありがとうございます。ディベートのみならず視野を広げるレクチャーと本当に教育的な機会が提供されていると思っています。
- PDAのフォーマットに沿ってディベートをジャッジすることができ、良い経験になりました。
- 高校だけではなく中学校との繋がりを意識して参加することでこれからの英語授業のありかたについて考えるきっかけになりました。またジャッジをさせていただくこと

で生徒への効果的なフィードバックとは何かについて考えることがよりできるようになりました。

- 勝ち負け以上に生徒らにとって毎回得るものが大きいので有り難く思います。ありがとうございました。
- レベルが高くチャレンジングでしたが、いい刺激になったと思います。本校の生徒も継続して同じ生徒が参加できるよう、指導を整えていきます。
- The students seemed to have enjoyed themselves and I also enjoyed listening to the speeches !

3. キーノートレクチャーについての感想

- BMI はやはり人体にかかわることで、議論を呼ぶような課題で、知らない技術や進んでいる研究現場を少しでも知ることができてよかった。(白百合学園)
- BMI に対して興味を持つきっかけになりました。初めてこの内容に触れましたが、レクチャーの内容とその後のディベートが合わさってより多角的な見方ができ、大変貴重な経験だったと感じます。(東洋英和)
- 今まで触れたことのない分野のことでしたが、これを機に知ることができてよかったです。英語力を伸ばすだけでなく、英語の他にも自分が人の役に立てることを見つけていこうと思いました。(八代)
- とても分かりやすかったです。難しい単語もあつたりしましたが、新しい知識を増やすことができ、とてもいい機会になりました。ありがとうございました。(湘南白百合)
- とても興味深く勉強になり視野が広がりました。こんなに研究が進んでいることに純粋に驚きました。ディベートでこういう話が聞けるのは本当にありがたいです。(武蔵)
- とても興味深い内容でした。BMI について初めて理解することができました。キーノートレクチャーを聞いた後に、決勝ラウンドを見たので、試合の内容が分かりやすかったです。(神大附属)
- 研究の背景まで分かったのが良かったです。理系の知らない分野について知るのを楽ししいと思いました。(教員)
- 大変興味深く聞かせていただきました。ディベートに合う、深掘りできる話題でした。(教員)
- 非常に興味深かったです。非現実的なことが現実のものになる実感をしました。(教員)

以上

(写真)

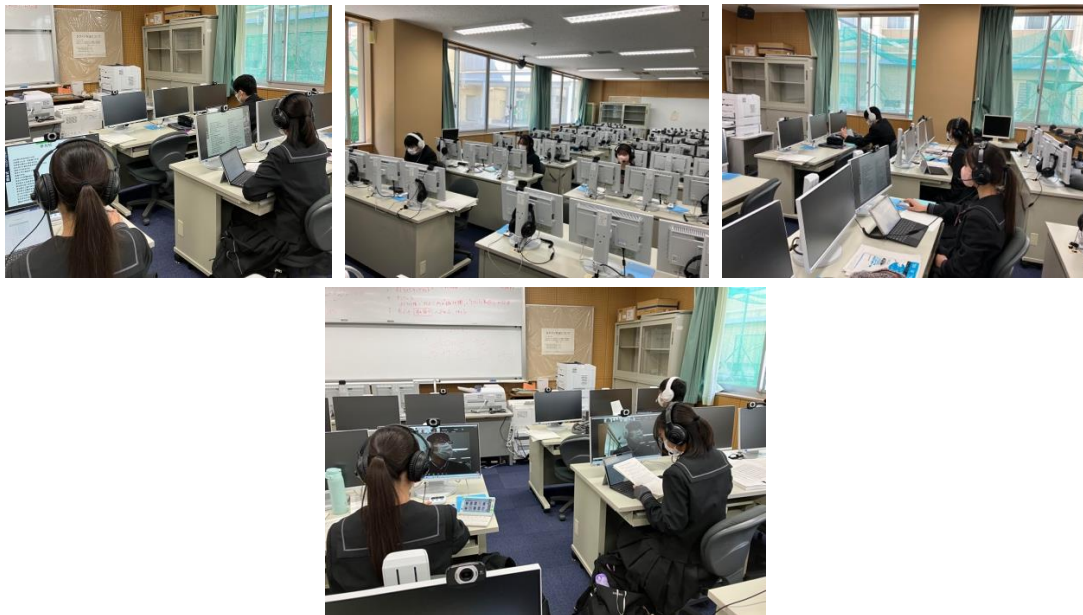
○山形県立東桜学館中学校



○筑波大学附属中学校



○東京都立大泉高等学校附属中学校



○東京都立三鷹中等教育学校



○愛知真和学園 大成中学校



○熊本県立八代中学校



○宮崎県立宮崎西高等学校附属中学校

